

下関西高等学校 進路だより

令和6年4月号 進路指導部

知性を身につけ、当たり前にするべきことを完璧にやろう！

今年度も君たちの進路実現の一助になればと考え、進路だよりを発行します。今まで通り「**適切な進路情報の提供**」「**モチベーションアップに繋がるメッセージの発信**」に努めたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

先日、3学年進路講話で進路に関するお話をしましたが、今回はそこでの内容についての補足をしたと思います。1、2年生の生徒にも参考になればと思います。そこで一番、強調したのは受験で伸びる生徒のキーコンピテンシーについて、「**自分と向き合うことができ、自分と違う価値観を持つ大人ときちんと対話できる生徒**」「**他人と比べて自分が優れているという自負心ではない、しっかりとした足場のような西高プライドを持っている生徒**」「**ホームルームや部活動などグループの雰囲気をよくしようとする生徒**」などの具体例を挙げながら説明しました。そして、特に「**この1年間を通して将来に生きる知性を身につけよう**」と伝えました。ここでの「**知性**」とは**自分の頭できちんと考え、時には学習したことを疑い、十分に考えようとする態度や能力**のことを意味します。そして、その**知性を発揮できる人の条件**として私は、**自分の考えだけに固執せず、相手の意見もしっかり傾聴し、最後に自分の中で「きちんと腑に落ちたか」「十分に納得したか」とうかを、自分の心と向き合い判断し、場合によっては行動を変えることができることだと考え、その条件に合う人を「知性的な人」だと思っています**。私も新人教員の頃、先輩の先生方から自分の考えに執着しすぎず、先生だからと言って「**わかったふりをしない**」「**知らないことは知らないと言う**」正直な態度を生徒に対して持つようにとアドバイスを受けたことがあります。私は「**わかったふり**」をすることで、目の前の問題を自分の課題として認識できなくなるというふうに理解しました。その後は、他人の説明や本で読んだ内容をすぐに鵜呑みにするのではなく、目の前の事象がなぜ起きているのかなどの背景についてぎりぎりまで考え理解するように努めるようになりました。特に、この AI 全盛の時代においては、自分が知識や情報を多く持っているかどうかだけでなく、「**自分の知的な枠組みそのものをそのつど作り替える**」ことができる**柔軟性が、「知性」そのものである**と考えられます。そして、**知性を十分に身につけるには時間と労力が必要**であると思いますし、だからと言って、時間と労力をかけたら必ず知性が得られるとは限らず、何の結果も得られない可能性もあると思います。つまり、その知性の獲得には**学習に粘り強く取り組む姿勢が何より重要**だと言えるでしょう。

また、もう一つ知性について注目して欲しい点に、**知性は個人の属性ではなく、集団的にしか発揮されない**という点があります。ある人が知性のある人であるかどうかは、その人が持っている知識の量や計算力によって評価されるものではなく、その人の発言、振る舞いによって、その集団全体の知的パフォーマンスが上がった時にはじめて、「彼は知性的な人だったよね」と高く評価されるのです。だから、個人的な知的能力は高くても、その人がいると集団から笑いや新しい提案が無くなり、集団全体の知的パフォーマンスが下がってしまうという場合には、その人は「**反知性的な人**」となると思います。だから、一人一人が学校やクラスの中などの集団での発言や振る舞いが集団に対して大きな影響力があることを自覚し、クラスの雰囲気を良くしようとする気持ちや活動が大切なキーコンピテンシーであることを十分に理解し、様々な活動に主体的に参加してほしいと思います。

(裏面につづく)

では、次に年度始め恒例の進路指導室の紹介をしたいと思います。これも毎年のことですが、年度始めは上級生も含めて利用者が少なく進路関係の情報収集について大丈夫なのか？と大きな不安を感じています。とりあえず、進路指導室の紹介を掲載していますので、早いうちに一度のぞいて気になる大学の赤本、青本などを自由に閲覧してみてください。また、閲覧、貸出ができる赤本・青本などの書籍の購入希望や進路指導室についての要望があれば積極的に出してください。

【進路指導室の紹介！】

進路指導室は購買部の隣にあり、大学入試の過去問(青本・赤本)、参考書、問題集、進路情報誌など「進路情報の宝庫」で、赤本、青本、問題集は1回につき3冊まで1週間ほど借りることができます。

パソコンも設置されており、インターネットによる情報検索やネット出願も可能です。また、**国公立大学受験報告書**も設置しています。これには、君たちの先輩が試験を受けた時に感じた「生の声」が受験大学別にまとめられています。入ってすぐ左側、右の写真の「ココ」にありますので、こちらも閲覧してみてください。



2点目は**居残り学習、特に旭陵館の利用者がまだ少ない点について**です。最近の受験生の傾向の一つに**自学自習力が低下**しているのではないかという点があり、とても心配しています。これについては、本校も生徒や保護者の方からの要望もあり、旭陵館や職員室周辺で居残り学習ができるような体制になっています。まだまだ周知が足りないかもしれませんが、旭陵館の利用状況については4月の平日が12～14名、休日は10名以下となっています。こちらについても、以下に利用時間一覧等を掲載しますので確認の上、十分に活用して**自学自習力の向上**を図ってください。

【放課後利用時間一覧】

★冬季…2学期中間考査終了後～3月末

通常 (考査発表～前日も含む)	旭陵館 職員室周辺	19:00まで (★冬季は18:30まで)
	教室	17:00まで ※エアコン使用不可
長期休業中	旭陵館	16:00まで ※指定開館日のみ
	職員室周辺	16:00まで
	教室	16:00まで ※課外期間中のみ

【補足】

- ・旭陵館は、土日に利用できる日があります。(4月・5月の開館日一覧は配付済み)
開館時間 9:00～17:00
- ・今年度も試行として**20:00**まで旭陵館を開館しています。
- ・教室は、長期休業中で課外授業がない日でも、**教員の指導下であれば**利用できます。

以上です。進路について何かあれば気軽に声をかけてください。今年もよろしくお祈いします。

(文責・進路指導部・松村)